

## 日本梨「あきづき」の側枝更新法

園芸栽培部 果樹チーム TEL:383-8134

### 研究目的

「あきづき」は、9月下旬頃から収穫できる日本梨で、1個500g以上と大きく、食味が大変優れていますが、現在は店頭に並ぶことはほとんどなく、県内では直売などで手に入ります。

素晴らしい品質を持つ「あきづき」ですが、果実をならせる枝（以下「側枝」といいます。）を早めに更新することが良品の生産につながることから、側枝の効率的な更新法を開発しました。

### 研究の成果

- 1) 発芽期から満開3週間後までに側枝基部2～3cmの位置に幅2cmで環状剥皮（樹皮を形成層の部分まで剥ぎ取る）します（図1）。
- 2) 環状剥皮によって側枝基部の芽が伸長しはじめ、当年中に80cm前後の枝にまで成長し、側枝更新用の枝として利用することができます（図2）。

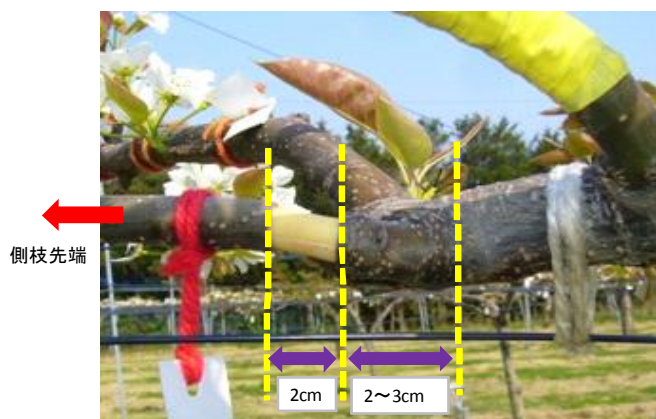


図1 環状剥皮した側枝基部（満開7日後）



図2 環状剥皮による側枝基部からの発芽（剥皮30日後）

表1 環状剥皮の処理時期の違いが新梢発生に及ぼす影響（平成22年）

試験区 (処理月日)	新梢発生率 (%)	新梢発生 本数(本)	基部径 (mm)	枝長 (cm)
発芽期(4/11)	70.0	1.3	10.2	87.8
満開7日後(5/10)	80.0	1.5	9.5	68.1
満開21日後(5/25)	90.0	1.2	10.3	80.4

### 普及の見込

県内の梨産地では、数年前から「あきづき」の導入が進んでおり、収穫できる樹が年々増えています。今回の研究によって安定した生産が可能になるため、より多くの県民の皆様においしい「あきづき」を味わっていただけるものと期待されます。

**宮城県**  
**農業・園芸総合研究所**

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地  
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)  
ホームページ: [http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/)  
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)